

## 大学院 読書課題

エマニュエル・シェグロフ「予備のための予備」(『会話分析の方法』世界思想社)を読み、下の質問リストに答えなさい。

1. 6 頁に「ところで、上の断片 1 について、じつに驚くべきことが観察できる」とあるが、「驚くべきこと」は何か。とくに「二重にずらされている」ということの意味が明らかになるように、具体的に解説しなさい。
2. 15 頁の「2 つ目の事例群」とは、どのような事例群か。1 つ目の事例群との違いが明確になるように、事例に即して解説しなさい。
3. 20 頁以下で述べられていることは、いわゆる「先行連鎖」の説明である。「そして、その発言に対する応答のいかんにより、その予備の次に現われるはずの当の(他の)発言は、実際に出現することもある、しないこともある」というのは、どういうことか。また、なんで、ここで「先行連鎖」の説明がなされているのか。
4. 「プレ」と「プレ・プレ」はどこが異なるか。
5. 26 頁に「質問をするために、もう 1 つ質問することが「背理」だった。いまや、この点も理解できるだろう」とあるが、いまやどう理解できるか。事例 9 に即して説明しなさい。
6. 35 頁以降、第 3 のタイプの行為予告が紹介される。これは、これまでの 2 つとどこが異なるか。断片 11 (笑いガス) に即して説明しなさい。
7. 50 頁に「さて、行為予告は「プレ・プレ」という働きを持つという [前節の] 主張が、この節で見てきたいいくつかの断片によって損なわれることはない」とあるが、どうして損なわれることはないのか。
8. 51 頁に「行為予告のこのような使用にいったん気づくならば、ある特定の構造が様々なやりとりのなかに隠れていたことを、見出せるようになるかもしれない」とあるが、断片 14 に関して、プレ・プレに気づくことで、どのような分析上の利得があると著者は述べているか。
9. 事例 17 について、矢印の発話は、どういう意味で「デリケートな行為の前置き」になっているか。デリケートな行為はどれにあたり、それはどういう意味でデリケートであるか。また、なぜ「デリケートな行為の前置き」を必要としているのか。
10. 64 頁以降の「探し出し」とはどういうことか。断片 20 にそくして説明してみよう。
11. 断片 21 の 6 行目の問いはなぜ中断され、かつその後、その問いが再出現するまでのあいだ (6~10 行目) では何が行なわれていると、分析されているか。
12. 96 頁に『「プレ・プレ」であるということ、そのこと自体が、相互行為上行なわれていることだ』とあるが、どういう意味か。